

世界史 B

(解答番号 ~)

第1問 文化の繁栄や受容について述べた次の文章 A～C を読み, 下の問い(問 1～9)に答えよ。(配点 25)

A 中世後期のフランドルは①イタリアと並んで, 商業的にも文化的にも繁栄した地域であった。なかでも, フランドルを代表する都市ブルッヘ(ブリュージュ)はヨーロッパの②交易の中枢であり, 多くの国際商人が集っていた。ファン=エイク兄弟(ファン=アイク兄弟)の弟ヤンは, ブルゴーニュ公お抱えの③宮廷画家となり, ブルッヘで活躍した。また, 彼はイタリア商人の依頼を受けて「アルノルフィーニ夫妻の像」(下図参照)を制作している。彼の油彩の技法はイタリアなどでも絶賛され, その後の絵画に影響を与えることになった。



「アルノルフィーニ夫妻の像」

問 1 下線部①について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① ギベリン(皇帝党，皇帝派)とゲルフ(教皇党，教皇派)とが争った。
- ② マッツィーニが，両シチリア王国を占領した。
- ③ オスマン帝国から，モロッコを獲得した。
- ④ ミラノ勅令によって，ヴァテカン市国(ヴァティカン市国)の独立が認められた。

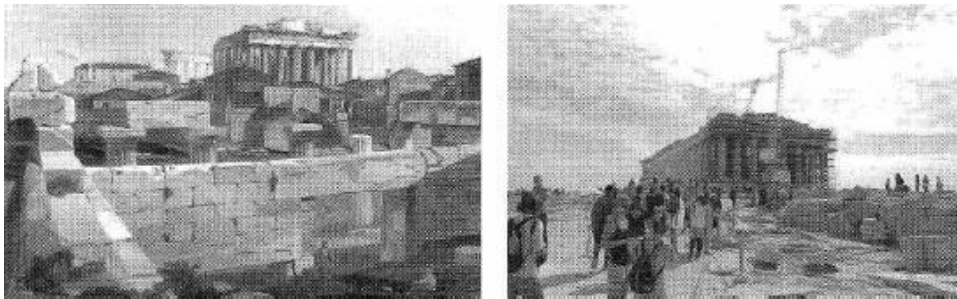
問 2 下線部②について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 中世のシャンパーニュ地方は，海運で繁栄した。
- ② 清は，公行という特許商人の組合に貿易を管理させた。
- ③ 保護貿易を促すために関税と貿易に関する一般協定(G A T T)が発足した。
- ④ スペインは，カルカッタをアジア貿易の根拠地とした。

問 3 下線部③に関連して，宮廷の文化について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① 王羲之は，宮廷の女性の心得を説いた文章を基に「女史箴図」を描いた。
- ② 中世ヨーロッパの宮廷で，吟遊詩人が恋愛をテーマとした叙情詩をうたった。
- ③ 17世紀のスペインの宮廷で，画家モネが活躍した。
- ④ サンスーシ宮殿は，ゴシック様式を代表する建築である。

B ④古代アテネのアクロポリスに建てられたパルテノン神殿は、その時々⑤支配体制の下で姿を変えてきた。中世には教会として、イスラーム支配下ではモスクとして利用された。17世紀には弾薬庫として用いられ、被弾して甚大な損傷も被った。19世紀になってギリシアは独立を果たしたが、当時のアクロポリスは中世以降に建てられた建造物が密集していた(下図参照)。これらの雑多な建物は、⑥古代ギリシアを「古典」として受容した近代ヨーロッパの意向により、古代ギリシア最盛期の姿に戻すべく、「浄化」のために取り除かれた。アクロポリスの現在の姿は、一つの価値観に基づいて切り出された人工的な過去の姿でもある。



19世紀初頭アクロポリス前門からの眺め(左)と現在のアクロポリス(右)

問4 下線部④に関連して、古代のギリシア世界について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① ギリシア人によって、ミケーネ文明が築かれた。
- ② 扇動政治家(デマゴーゴス)出現防止のため、陶片追放の制度が定められた。
- ③ アイスキュロス・フェイディアス・エウリピデスは、三大悲劇詩人と呼ばれる。
- ④ スパルタは、イオニア人のポリスである。

問 5 下線部⑤に関連して、制度や政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 魏で、屯田制が実施された。
- ② ムガル帝国が、貴族に軍役と引き替えに土地を与えるプロノイア制を導入した。
- ③ ベルンシュタインが、プロイセンで農民解放を行った。
- ④ ポルトガルで、アトリー政権が社会福祉制度を充実させた。

問 6 下線部⑥に関連して、文化の受容について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 6

- a** 12 世紀のヨーロッパで、ギリシア古典やアラビア語文献がラテン語へと翻訳され、学芸が発展した
- b** ガンダーラ美術は、古代ギリシアの美術(ヘレニズム美術)に影響を与えた。

- ① **a** — 正 **b** — 正
- ② **a** — 正 **b** — 誤
- ③ **a** — 誤 **b** — 正
- ④ **a** — 誤 **b** — 誤

C ヨーロッパ人がアメリカ大陸にもたらしたキリスト教⑦文化の一部は、先住民文明との接触で変容した。メキシコ市北部の礼拝堂に祀^{まつ}られる「グアダループの聖母」にまつわる伝承は、そのような一例である。1531年、先住民フアン=ディエゴの前に聖母マリアが出現し、礼拝堂を建てるように命じた。その際、彼のマントには聖母の像が浮かび上がったが、その肌は混血を示す褐色であったという。この聖母はその後、メキシコで独立や革命の⑧指導者たちによって運動の旗印とされ、また今日では、⑨南北アメリカの守護聖人となっている。

問7 下線部⑦に関連して、文化の受容や技術の伝播^{でんぱ}について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① イスラームの天文学を取り入れて、唐代の中国で、授時暦が作られた。
- ② 中国絵画が、イスラーム世界の細密画(ミニアチュール)に影響を与えた。
- ③ コーヒーを飲む習慣は、イスラーム世界からヨーロッパに伝わった。
- ④ 中国で実用化された火薬の技術が、イスラーム世界を通じてヨーロッパに伝わった。

問8 下線部⑧について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 朱元璋が、明代の中国で、紅巾の乱を指導した。
- ② アギナルドが、革命軍を率いて、フィリピン共和国を樹立した。
- ③ エンクルマ(ンクルマ)が、南アフリカ共和国で、反アパルトヘイト運動を指導した。
- ④ サッチャーが、イギリスの自由党を率いて、新自由主義的改革を提唱した。

問 9 下線部⑨の歴史について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① カーター大統領が，中米諸国に対して，棍棒外交を展開した。
- ② カナダが，ラテンアメリカ諸国とともに米州機構（O A S）を結成した。
- ③ オーストリア皇帝の弟マクシミリアンが，ブラジルの皇帝となった。
- ④ マヤ文明が，二十進法や精密な暦法を発達させた。

第2問 戦争や対外関係について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 「いまは昔、イギリスの岸边から、豪胆無双の英雄ウルフが渡り来て、麗しきカナダの地にブリタニアの旗を打ち立てぬ。」これは、アレクサンダー＝ミューアの「^{かえで}楓の葉よ永遠に」という詩の一節である。18世紀を通じて、イギリスとフランスは世界各地で①抗争を繰り広げていた。そのような中、上記の詩にて描かれるイギリスのジェームズ＝ウルフ将軍は、北米大陸に遠征し、アブラム平原でフランス軍に勝利を収めた。戦後、この地はケベック植民地としてイギリスに②割譲されたが、同地に住む③言語や文化の異なる人々を「ブリタニア」の旗の下に加えたことは、この後、イギリス帝国に混乱を引き起こすこととなった。

問1 下線部①に関連して、イギリスとフランスとの抗争やその帰結について述べた文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 10

- a ユトレヒト条約で、フランスはイギリスからハドソン湾地方を獲得した。
- b ウィリアム1世が、フランス王位継承権を主張して百年戦争を始めた。

- ① a—正 b—正
- ② a—正 b—誤
- ③ a—誤 b—正
- ④ a—誤 b—誤

問2 下線部②に関連して、国家の領土拡大について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① アメリカ合衆国が、フランスからフロリダを買収した。
- ② オランダが、西ポンメルンを獲得した。
- ③ オーストリアが、ユーゴスラヴィアからフィウメを獲得した。
- ④ ロシアが、コーカンド=ハン国を併合した。

問3 下線部③について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① ムガル帝国で、サンスクリット語が生み出された。
- ② アフリカ東岸の港市(海港都市、海港)で、共通語としてスワヒリ語が用いられるようになった。
- ③ ビザンツ帝国で、公用語としてアラビア語が採用された。
- ④ 南インドで、マレー語による文芸活動が盛んになった。

B ヨーロッパ諸国が海外に進出し始めて以来，④覇権国が中心となって国際秩序を形成するようになった。第二次世界大戦後はアメリカが覇権国となったが，⑤ソ連がそれに対抗を試みて，⑥冷戦と呼ばれる状況が続いた。両国は直接対決を回避しながらも，ともに軍拡競争を続け，対外派兵を行った。しかしソ連は，1970年代以降経済が長期停滞して国民生活の持続的改善ができなくなり，大胆な軍縮方針を打ち出した。アメリカも，軍拡による財政赤字が問題化していたのでそれに応じ，1989年，両国首脳は冷戦の終結を宣言した。

問4 下線部④に関連して，国家間の勢力争いについて述べた文として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 列強が中国進出を競うなかで，ドイツは門戸開放を提唱した。
- ② スペインとポルトガルが，アジアやアメリカ大陸への進出を競った。
- ③ 第一次世界大戦において，イギリス・フランスがドイツと対立した。
- ④ フランスは，清仏戦争に勝利した後，インドシナでの支配を拡大した。

問5 下線部⑤に関連して，ロシア・ソ連の歴史について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 「封じ込め政策」に対抗して，コミンテルンを設立した。
- ② ロシア革命後，日本を含む諸国により対ソ干渉戦争が行われた。
- ③ 五か年計画に代えて，新経済政策(ネップ)を導入した。
- ④ ミハイル＝ロマノフの下で，西欧化政策が進められた。

問 6 下線部⑥について述べた次の文 **a** ～ **c** が，年代の古いものから順に正しく配列されているものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

15

- a** 経済相互援助会議(コメコン)が結成された。
- b** ソ連が，アフガニスタンから撤兵した。
- c** 第1次戦略兵器制限交渉(第1次SALT)が行われた。

- ① **a** → **b** → **c**
- ② **a** → **c** → **b**
- ③ **b** → **a** → **c**
- ④ **b** → **c** → **a**
- ⑤ **c** → **a** → **b**
- ⑥ **c** → **b** → **a**

C ⑦外交において、国家指導者の果たす役割は大きい。1978 年 10 月、日中平和友好条約の批准書交換のため、⑧鄧小平は日本を訪問した。彼は 20 世紀の両国間の不幸な一時期に触れつつも、長期にわたる良好な関係を強調し、将来の友好関係への期待を述べた。滞在中、彼は新幹線に乗り、日本の先進的な工場を視察し、中国人のプライドを傷つけないよう細心の注意を払いながら、日本の技術と管理システムを称賛した。彼我の力関係を冷静に見極めた彼の言動は、その後の⑨日中関係の発展に寄与したのである。

問 7 下線部⑦について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① 遼(契丹)は、澶淵の盟により、毎年多額の銀や絹を宋に贈ることになった。
- ② レーガン大統領の仲介で、パレスチナ暫定自治協定が締結された。
- ③ ブラント政権が、東欧諸国との関係改善を目指す東方外交を展開した。
- ④ マリア=テレジアは、シュレジエン奪回のために、長年敵対してきたプロイセンと同盟した。

問 8 下線部⑧について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。 17

- ① 新生活運動を展開した。
- ② ネルー首相と会談し，平和五原則を発表した。
- ③ 毛沢東に代わって，国家主席となった。
- ④ 資本主義の復活をはかったとして，文化大革命中に批判された。

問 9 下線部⑨に関連して，中国の対外関係について述べた次の文章中の空欄
アとイに入れる語の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちか
ら一つ選べ。 18

中ソ対立が激化し，ベトナム戦争が泥沼化するなか，アメリカ合衆国大統領
アが訪中し，米中関係は改善に向かった。ベトナムは 1978 年に，中国が支
援していたイに侵攻し，その結果，中越戦争が起こった。

- ① アーJohnson イーカンボジア
- ② アーJohnson イーラオス
- ③ アーニクソン イーカンボジア
- ④ アーニクソン イーラオス

第3問 図書館と書物について述べた次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A 15世紀エジプトの書記官カルカシャンディーは、書記の技術と教養を集大成した手引き書『黎明^{れいめい}』を著した。その中で彼は、かつての①カリフたちによって建てられた三つの図書館を紹介している。これらの図書館はイスラーム世界で栄えた②書物の文化を反映し、いずれも豊富な蔵書数を誇っていた。イスラームに関する本のみならず、哲学や自然科学に関する③翻訳書も数多く収められていたという。しかし、これらの図書館のうちあるものは異民族の侵略によって壊滅し、またあるものは異端^{かど}の嫌で蔵書の多くが焼き捨てられるなどして、カルカシャンディーの時代にはいずれも姿を消してしまっていた。

問1 下線部①に関連して、次の年表に示したa～dの時期のうち、ファーティマ朝が成立した時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

19

a

809年 ハーラーン=アッラシード没

b

929年 後ウマイヤ朝君主がカリフを名乗る

c

1055年 トゥグリル=ベクがスルタンの称号を授けられた

d

① a ② b ③ c ④ d

問2 下線部②に関連して、文字や記録媒体について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① パピルスには、象形文字を簡略にしたインダス文字が書かれた。
- ② 殷墟から、甲骨文字を刻んだ大量の亀甲・獣骨が出土した。
- ③ アステカ王国で、記録・伝達手段としてキープ(結縄)が用いられた。
- ④ アッカド人の発明した楔形文字が、古代オリエントで使用された。

問3 下線部②について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 西域から来た鳩摩羅什は、仏典を翻訳した。
- ② 李時珍は、エウクレイデスの幾何学の書を翻訳した。
- ③ アッバース朝で、ギリシアの書物がトルコ語に翻訳された。
- ④ ルターは、『新約聖書』を英語に翻訳した。

B 大英博物館図書部(大英図書館の前身)は 1753 年に設立された。18 世紀後半以降にイギリスがインドの④植民地化を進める中で、⑤旅行記や地理書のみでなく、公文書などが同図書部に集められ、植民地インドに関する資料が蓄積された。⑥1848 年革命の後、ロンドンに亡命したカール=マルクスは、同図書部所収のインドに関する文献を用いてアジアの村落共同体について考察し『資本制生産に先行する諸形態』の草稿などを執筆した。こうした著作の生まれた過程は、植民地となったアジアからの情報が、ヨーロッパの思想潮流に大きく影響を与えたことを示している。

問 4 下線部④について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① ベルギーが、アンゴラを植民地とした。
- ② イタリアが、アルジェリアを併合した。
- ③ ドイツが、ソマリランドを併合した。
- ④ イギリスが、スリランカを獲得した。

問 5 下線部⑤について述べた次の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23

- a** 玄奘は、インドを訪れ、『大唐西域記』を残した。
- b** ストラボンは、『地理誌』（『地理書』）を著した。

- ① **a**—正 **b**—正
- ② **a**—正 **b**—誤
- ③ **a**—誤 **b**—正
- ④ **a**—誤 **b**—誤

問 6 下線部⑥について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。

24

- ① ニコライ 2 世が退位し，ロマノフ朝が倒れた。
- ② ドイツで，フランクフルト国民議会が開かれた。
- ③ ディアスの独裁政権が倒れた。
- ④ フランスで，七月王政が成立した。

C 「啓蒙とは、人間が自分の⑦未成年状態から抜けでることである」と述べたイマニュエル=カント(1724～1804 年)は、⑧ドイツを代表する啓蒙思想家の一人である。彼が生まれ育った東プロイセンは、当時のヨーロッパの文化的中心地から離れていたが、主要都市ケーニヒスベルクには王立図書館があった。ケーニヒスベルク大学の正教授になる前のカントは、同館の副司書として生計を立てつつ、知識や情報を収集することができた。また、パンフレットや⑨書物の出版とその流通を担った書籍商人のおかげで、生涯にわたり東プロイセンを離れなかったとされるカントも、最先端の知識に接することができたのだった。

問7 下線部⑦に関連して、未成年の労働条件の改善について述べた次の文章中の空欄 **ア** と **イ** に入れる語の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

産業革命期のイギリスでは、変革に伴い新たな社会問題が発生し、工場経営者 **ア** は労働者の待遇改善を訴えた。1833 年には、労働者を保護する **イ** が制定され、児童・未成年者の労働時間が制限された。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① ア ーオーウェン | イ ー人身保護法 |
| ② ア ーオーウェン | イ ー工場法 |
| ③ ア ーフリーエ | イ ー人身保護法 |
| ④ ア ーフリーエ | イ ー工場法 |

問 8 下線部⑧に関連して、次の地図は、第一次世界大戦終結後(1921 年時点)のドイツ国境を太線で示している。ナチス=ドイツがポーランドに対して返還を要求した都市の名と、その位置を示す地図中の **a** または **b** の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 26



- ① ダンツィヒー **a**
- ② ダンツィヒー **b**
- ③ クラクフー **a**
- ④ クラクフー **b**

問 9 下線部⑨について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① ユスティニアヌスの『ローマ法大全』は、5 世紀に編纂された。
- ② 『古今図書集成』は、元代に編纂された。
- ③ 『マヌ法典』には、ヴァルナごとの生活規範が収められている。
- ④ デイドロの『百科全書』は、ドイツ啓蒙思想の集大成である。

第4問 人やモノの移動について述べた次の文章 A～C を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 25)

A ①漢の武帝は、匈奴を駆逐して河西回廊(現在の中国甘肅省一帯)を占領し、そこに四つの郡を新設した。その一つである敦煌郡には、懸泉置^{けんせんち}という駅伝施設が置かれ、街道を行き交う公用旅行者に飲食や宿泊場所を提供した。1990～1992年に懸泉置の遺跡が発掘されると、そこから大量の木簡が出土し、そのうちの1枚には「使者が于闐^{うてん}(現在のホータン)の王以下1,074人を引率」と記されていた。中央アジアのオアシス国家と漢の②都との間に大規模な使節の往来があったことが分かる。この時期には③ユーラシアの東西を結ぶ人やモノの動きが活性化しており、出土した木簡はその一齣^{ひとこま}を今に伝えている。

問1 下線部①の治世について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 南越を滅ぼして、ベトナム北部を支配した。
- ② 党錮の禁が起こり、官僚・学者が弾圧された。
- ③ 府兵制により、農民を徴兵した。
- ④ 茶の専売を行い、国家収入を増やした。

問2 下線部②に関連して、中国歴代王朝の都について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 周の都は、王室の内紛を経て、建康に遷^{うつ}った。
- ② 唐の都には、マニ教の寺院が建てられた。
- ③ 北宋の都は、西夏によって占領された。
- ④ 元の都で、プラノ=カルピニがカトリックの布教を行った。

問3 下線部③について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。

30

- ① サータヴァーハナ朝が，デカン高原におこり，海上交易で繁栄した。
- ② 班超が，部下の甘英をプトレマイオス朝に派遣した。
- ③ バクトリアは，クテシフォンに拠点を置き，東西交易の利益を独占した。
- ④ ローマ皇帝の使者と名乗る者が，後漢の楽浪郡に到来した。

B 日本船による海外交易が盛んになった 17 世紀前半には、南シナ海の航路に沿って、④各地を巡った日本人が多数存在した。播州高砂(現在の兵庫県高砂市)出身の船乗り徳兵衛もその一人である。1626 年ごろ、豪商角倉與市よいちの⑤船に乗り長崎を出発し、シャム(現在のタイ)に渡り、2 年後に帰国した。さらに 1630 年には、オランダ商船で再び東南アジアを訪れたとされる。当時の日本では、東南アジアは「天竺てんじく」の一部と考えられており、船乗り徳兵衛が残した渡航の記録は『天竺徳兵衛物語』として知られる。没後、彼は異国情緒を背景に妖術使い「天竺徳兵衛」として脚色され、歌舞伎などの⑥芸能作品で演じられるようになった(下図参照)。



「天竺徳兵衛」を演じる役者の錦絵(歌川国貞作)

問 4 下線部④に関連して、移民や移住について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 19 世紀に、アイルランドから大量の移民がハワイに渡った。
- ② ヘブライ人は、ミタンニ王国によってバビロンに強制移住させられた。
- ③ アフリカからの移民が、マレー半島での農園労働に従事した。
- ④ 12 世紀以降、ドイツ人の東方植民が進んだ。

問 5 下線部⑤に関わる出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① アテネでは、ペルシア戦争後、軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民(無産市民)の発言力が高まった。
- ② 李舜臣は、亀甲船を用いて、明軍に打撃を与えた。
- ③ 広州で、オランダ船籍を主張する船の乗組員が逮捕されるアロー号事件が起きた。
- ④ フランスの水爆実験によって、日本の漁船第五福竜丸が被曝した。

問 6 下線部⑥に関連して、芸能や文芸について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 古代インドで、戯曲『シャクンタラー』が、カーリダーサによって作られた。
- ② フランス古典主義の演劇作品が、モリエールによって作られた。
- ③ ジャワで、ワヤン(ワヤン=クリ)と呼ばれる人形影絵劇(影絵芝居)が発達した。
- ④ 清代に音曲(楽曲)にあわせてうたう詞が流行した。

C 第一次世界大戦中，日本は，中国内のドイツ租借地を占領した。その結果，当地を守っていたドイツ軍の兵士と，さまざまな民族からなる⑦オーストリア＝ハンガリー帝国軍の兵士を捕虜とし，日本本土に⑧移送した。両国の捕虜兵は戦時中，日本各地に設置された収容所に入れられたが，停戦とともに講和が結ばれる中で，順次帰国の途についた。しかしその時には，それぞれの捕虜兵の祖国は大きく姿を変えていた。ドイツ帝国は共和国となった一方，オーストリア＝ハンガリー帝国は崩壊し，その支配下にあった⑨東欧には，いくつかの国家が新たにつくられていたのである。

問7 下線部⑦に関連して，ハンガリーの歴史について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 34

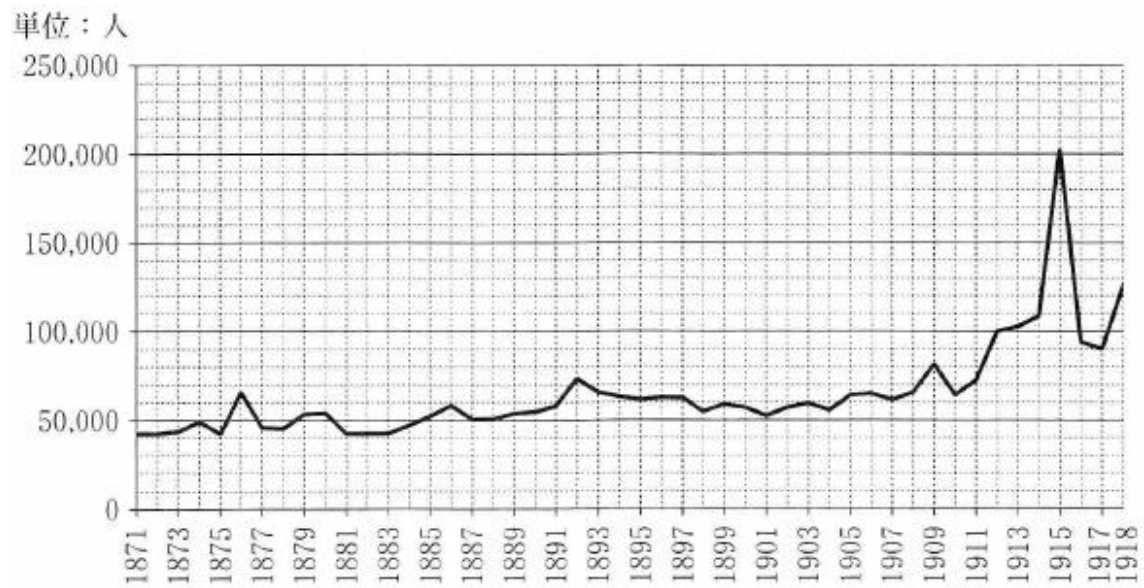
- ① ブルムを首相とする人民戦線政府が成立した。
- ② チャウシェスクが処刑された。
- ③ ドプチェクが自由化を推進した。
- ④ ナジが首相となり，政権を成立させた

問8 下線部⑧に関連して，人の移動について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 西スラヴ人は，フン人の移動をうけて，イベリア半島に入り建国した。
- ② エジプトでは，古王国時代の末期にヒクソスが流入し国内を混乱させた。
- ③ バルトロメウ＝ディアスは，アフリカ南端の喜望峰に到達した。
- ④ ブレジネフは，第一次世界大戦時に亡命先のスイスから帰国した。

問 9 下線部⑨に関連して、次のグラフは 1871 年から 1918 年までのセルビアにおける年間の死亡者数を示している。このグラフから読み取れる内容について述べた下の文 **a** と **b** の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36



(H. Sundhaussen, *Historische Statistik Serbiens* より作成)

- a** 年間の死亡者数がはじめて 6 万人を超えたのは、セルビアがオスマン帝国から独立を果たした後である。
- b** 年間の死亡者数が 20 万人を超えたのは、ボスニアの州都でオーストリア(オーストリア=ハンガリー)帝位継承者夫妻が暗殺された翌年である。

- ① **a**—正 **b**—正
- ② **a**—正 **b**—誤
- ③ **a**—誤 **b**—正
- ④ **a**—誤 **b**—誤

【解説】

第1問 文化の繁栄や受容

A

問1 正解① (イタリアの歴史) 1

- ①イタリア史において、国家統一の遅れた原因を整理することは重要である。P. 149 を見て、神聖ローマ皇帝のイタリア政策が、教皇党と皇帝党の抗争の背景にあったことを理解したい。
- ②分裂状態の長期化に続いて、イタリア統一の過程も頻出事項と言える。P. 228 の年表と地図で整理したい。ウィーン体制下で青年イタリアを率いたのがマッツィーニで、自由主義的な統一運動を企図した。その後、サルデーニャ王国を中核とし、外交的手段を含めた「上からの統一」をめざしたのがカヴールである。両シチリア王国を征服し、サルデーニャ国王に献上したガリバルディも忘れてはならない。
- ③P. 257 の地図を参照。イタリアがオスマン帝国との戦争で得たのはリビア。モロッコはフランス領となる。
- ④P. 90 で確認できるように、ミラノ勅令はコンスタンティヌス帝時代のもので、キリスト教が公認された。国教化ではないので注意。ヴァチカン市国の成立については P. 269 の 4 参照。イタリアのファシスト政権が国際的評価を高める意図もあって、教皇庁とラテラン条約を結び、同国が成立する。

問2 正解② (交易の歴史) 2

- ①中世ヨーロッパの遠隔地商業については、P. 144 を参照。バルト海商業圏と地中海商業圏を結びつけたのがシャンパーニュの都市であり、内陸に位置する。海運が発展するのはハンザ同盟や北イタリアの都市だろう。
- ②P. 170 参照。清朝はキリスト教に対する制限を強めるとともに、ヨーロッパとの貿易でも管理を強化していった。唯一の窓口となった広州を中心に貿易管理を担当するのが公行である。
- ③P. 283 参照。第二次世界大戦の要因の1つは、列強各国が実施したブロック経済および保護貿易政策にあった。これを反省してつくられたのがブレトン=ウッズ

体制である。途上国支援を行う I B R D，為替の安定を図る I M F，自由貿易をめざす G A T T (後に W T O に改組) が，同体制の中核を担った。

- ④アメリカ大陸やアジアへのヨーロッパ諸国の進出については，時期や拠点を整理する必要がある。当然，地図を用いて理解すること。P. 210 および P. 211 が参考になるだろう。

問 3 正解② (宮廷の文化) 3

①中国史の諸事項は，巻末の一覧表などを用いて整理することも必要。王羲之は東晋の書家で，楷書・行書などを芸術的な完成に導き，典雅かつ力強い書風で知られる。P. 115 を参照。女史箴図を描いたのは東晋の顧愷之で，同ページに掲載されている。

②中世ヨーロッパの文学は騎士道と英雄がキーワード。P. 150 には，吟遊詩人について，図版入りで解説がある。

③バロック美術は宮廷芸術の色彩が濃い。スペインのベラスケスなどが典型と言えるだろう。P. 208 で，くっきりした色合いのバロック的画風とともに確認しておきたい。モネはフランスの印象派画家で，独特な方法で光や光線を表現した。P. 239 に掲載されている。

④P. 208 と P. 209 参照。バロック様式のヴェルサイユ宮殿とロココ様式のサンソーシ宮殿は，ペアで記憶したい。建築した国王も含めて整理したいところ。ゴシック様式は中世ヨーロッパの教会建築様式で，ロマネスク様式とペアになる。こちらは P. 150 の 2 参照。

B

問4 正解① (古代のギリシア世界) 4

- ①P. 78 でクレタ文明とミケーネ文明を比較したい。クレタ文明は非ギリシア系のようで、線文字Aも未解読。ギリシア人が築いたミケーネ文明については、ギリシア語をあてはめて線文字Bの解読が進んだ。
- ②P. 80 の年表参照。貴族と平民の対立を利用して僭主が登場すると、これを防ぐため、クレイステネスの時代に陶片追放の制度がつくられた。扇動政治家は、アテネ民主政の衰退期に登場する衆愚政治のシンボル。政治の混乱を招く点で似ているが、登場する時期は全く異なるので注意。
- ③P. 84 の①参照。古代ギリシアの演劇は、政治や社会を風刺することもあった。三大悲劇詩人には、フェイディアスではなく、ソフォクレスが入る。ソフォクレスの『オイディプス王』は現代の心理学などにも影響を与え、世界文学史上の至宝と言える。フェイディアスはパルテノン神殿の建立に関わった彫刻家で、古典様式の作品をのこした。
- ④ギリシア系民族の移動については P. 79 の地図Aを参照。合わせて、P. 80 の②でアテネとスパルタを比較整理したい。民族移動の混乱の中で、貴族を中心に集住型で形成されたアテネは、イオニア人のポリス。一方、スパルタは南下移動したドーリア人が、他のギリシア系集団などを征服して建てたポリス。先住民を支配する必要から、リュクルゴス体制が生まれた。

問5 全員正解 (制度や政策の歴史) 5

- ①巻末の中国王朝変遷表および P. 114 の①を見ると、屯田制が実施されたのは三国時代の魏である。魏晋南北朝時代の混乱の中で、魏の屯田制、西晋の占田法・課田法、北魏の均田制など、国家が農民を把握するためのシステムが生み出されていった。
- ②P. 139 参照。テマ制がうまく運用できた時代のビザンツ帝国は、封建社会化した西欧に比べて中央集権的であった。しかし、土地を世襲する貴族が増えると、これを追認し、プロノイア制に移行する。ビザンツ帝国も封建化したことを意味する。ムガル帝国で、軍事的奉仕と引き替えに給与地(徴税権を伴う)を与えるシステムはマンサブダール制。こちらは P. 181 に解説がある。
- ③まず、P. 220 の①でティルジット条約を確認し、ナポレオン戦争の中でプロイセ

ンが領土を大きく削減され、危機に陥ったことを認識したい。この直後、ナショナリズムの勃興したプロイセンでは、シュタイン・ハルデンベルクの改革が実施される。改革内容については、P. 221 の「チェック」を見ておこう。ベルンシュタインは修正主義を唱えた人物。P. 255 の[3]参照。ドイツ社会民主党が、労働者による階級闘争を重視するマルクス主義を唱え、第2インターナショナルの中核となる中で、議会を通した漸進的改革を主張した。

- ④アトリーは、第二次世界大戦末期にチャーチルにかわって労働党内閣を組織した。ポツダム会談にも関わっている。P. 282 の[3]や P. 308 を参照。

問6 正解② (文化の受容) [6]

- a まず P. 128 を見て欲しい。ギリシアやインドの古典文化は、イスラーム世界でアラビア語への翻訳活動を伴いながら、継承・蓄積された。これが、イベリア半島・シチリア島など、イスラーム教徒とキリスト教徒の接触(戦い)が多かった地域でラテン語に翻訳・継承され、12世紀ルネサンスを開花させる。南イタリアはビザンツ文化圏も重なることから、ギリシア語からラテン語への直接の翻訳も行われた。P. 161 の[3]も併せて参照したい。
- b P. 98 の地図[A]・[B]を見よう。バクトリア王国はギリシア系の国家である。この故地に成立したクシャーナ朝時代に、ガンダーラ地方でヘレニズムの影響を受けた仏教美術が発展する。P. 99 の[3]で見ると確かに、アジア的で柔和な仏像とは異なる雰囲気である。

C

問7 正解① (文化の受容や技術の伝播) 7

- ①・②モンゴル帝国時代には、ユーラシア規模のネットワークが出現し、人・モノ・文化等の交流が盛んとなった。P. 165 を参照。中国側からイスラーム世界への影響が見られる例として、ミニアチュールの発展、イスラーム側から中国文化への影響例として、郭守敬による授時暦を挙げることができる。
- ③テーマ5「動物と植物に見る世界史①」でコーヒーに関する解説を読んで欲しい。人間の生命を支える動植物には、それぞれの歴史がある。
- ④火薬は羅針盤・活版印刷とともに宋代中国の三大発明とされる。P. 155 を参照。これが、モンゴル帝国時代に築かれたネットワークに乗ってヨーロッパに伝播し、改良が加えられた。P. 193 を見ると、同じものが、ルネサンスの三大「改良」として確認できる。これらの改良品が、ヨーロッパの大航海時代や宗教改革を支えていった。

問8 正解② (指導者の歴史) 8

- ①P. 163 の4参照。元朝の滅亡の背景には帝位をめぐる内紛、チベット仏教を厚遇したことに伴う財政難、交鈔濫発による経済混乱などに加え、紅巾の乱の勃発を挙げることができる。同時期にペストも流行し、諸ハン国の衰退傾向も顕著となった。
- ②アギナルドについては P. 247 参照。アメリカの支援を受けながら対スペイン独立革命を指導し、「共和国」を樹立する。しかし、アメリカはこれを承認しなかった。後にアギナルドは、アメリカと対峙することとなる。
- ③第二次世界大戦後のアフリカについては P. 304 参照。エンクルマはガーナを早期の独立に導き、第三世界の台頭を印象付けた。第1回非同盟諸国首脳会議にも出席している (P. 289)。南アフリカのアパルトヘイトと、これの全廃に尽力したマンデラおよびデクラークについては、P. 304 の2参照。
- ④サッチャーはイギリス保守党内閣の首相で、イギリス経済の再生策を断行し、フォークランド戦争でも強い対応をとるなど、「鉄の女」と呼ばれた。P. 308 参照。

問9 正解④ (南北アメリカの歴史) 9

- ①カーター大統領の外交政策は「人権外交」と称される。P. 306 の年表参照。ニク

ソン大統領の訪中を受けて、米中国交正常化を達成したほか、エジプト-イスラエル間の和平を仲介した。棍棒外交は帝国主義的な外交であり、セオドア=ローズヴェルトのカリブ海政策などを指す(P. 259 参照)。海軍の増強とパナマ運河の建設開始を伴っていた。

- ②O A S はアメリカと中南米諸国が結成した、西側陣営の安全保障体制の 1 つ (P. 287 の^[3])。社会主義化したキューバに対峙した。アメリカの中南米に対する影響力は、同地域の軍事独裁政権を生み出す一方、アメリカに反発する左翼政権も生じさせた。P. 307 の^[3]も合わせて参照したい。
- ③ナポレオン 3 世は積極的な対外進出政策をとることで、国内諸階層からの支持を得ようとした。P. 227 を参照して、その対外政策の中にメキシコ出兵が含まれることを確認しよう。この時、メキシコ皇帝に担ぎ出されたのがマクシミリアンだが、アメリカ合衆国の反発もあって銃殺された。P. 225 の^[2]も見ておこう。ブラジルの独立は 19 世紀前半である (P. 224 の年表)。
- ④P. 185 を参照して、アメリカ大陸の古代文明の共通点と相違点を整理したい。例えば、マヤ文明は文字を持つが、インカ文明は文字を持たない。どの文明でも太陽信仰、太陽崇拝とともに暦法が発達していたようで、マヤ文明の二十進法とマヤ暦は有名。

第2問 戦争や対外関係

A

問1 正解④ (イギリスとフランスとの抗争やその帰結) 10

- a 第2次英仏百年戦争に伴う両国の植民地獲得状況については、P. 211 のようなビジュアルな整理が必要。特にユトレヒト条約とパリ条約による変化は重要である。両条約の結果、フランスは北米大陸方面の植民地をほぼ全部失った。
- b P. 148 参照。エドワード3世によるフランス王位継承権の主張が、百年戦争の一因となった。

問2 正解④ (国家の領土拡大) 11

- ①アメリカ合衆国の領土の拡大については、P. 234 の地図Aのように、地図を使った整理が必須となる。フランスから買収したのはミシシッピ川以西のルイジアナ。フロリダの領有権は、P. 217 の地図Cにある通り頻繁に入れ替わるが、最終的にスペインから買収して合衆国領となる。
- ②西ポンメルンという地名はやや細かい事象だが、三十年戦争の原因・経過・結果・影響はP. 200 で整理しておきたい。この戦争ではフランスがプロテスタント側に付いたこともあって、ハプスブルク家の勢力後退が明らかとなった。その結果、神聖ローマ帝国が有名無実化し、スイス・オランダの正式独立が認められ、プロテスタント側の「戦勝国」が領土を拡大する。特に、西ポンメルンなどを得たスウェーデンは「バルト帝国」と化し、ロシアとの対立を深めていく。
- ③第一次世界大戦の戦勝国となったイタリアは、サン=ジェルマン条約でイストリア・チロルを得たが(P. 267 参照)、フィウメは獲得できなかった。戦後の経済混乱を背景に台頭したムッソリーニ政権は、フィウメ併合などの侵略的政策で支持を集め、ヒトラーとともにファシズムの中核を担っていった。P. 268 の1やP. 269 の4も合わせて確認したい。
- ④P. 233 の3を参照。アレクサンドル2世はクリミア戦争での敗北を受け、農奴解放令の発布に踏み切るとともに、南下政策の矛先を極東・中央アジア方面に移していく。極東方面のアイグン条約・北京条約、中央アジア方面における諸ハン国保護国化・併合を並行して理解しよう。

問3 正解② (言語の歴史) 12

- ①サンスクリット語は古代インドの文語であり、グプタ朝の古典文化を支える。カーリダーサ『シャクンタラー』はサンスクリット文学の代表と言って良い(P. 98 の¹)。ムガル帝国の公用語はペルシア語だったが、ペルシア語・アラビア語・北インドの土着言語を融合させたウルドゥー語も現れた。これについては、P. 181 の⁴参照。
- ②アフリカ東岸には、季節風交易を行うムスリム商人のほか、鄭和やヴァスコ＝ダ＝ガマなど多様な人々が来航した。P. 131 の⁶にある通り、黒人のバントゥー語とアラビア語が融合してスワヒリ語が形成されたことも、文化混交の一例である。
- ③ビザンツ帝国の公用語はラテン語からギリシア語に変化する。P. 139 の年表参照。
- ④P. 99 の²参照。南インドはドラヴィダ系の民族が興亡する。中でもタミル語は、文学的な発展を見せた。マレー語は東南アジア島嶼部の基本言語であるが、同地域に華僑・印僑が居住するようになると、中国語やタミル語の使用地域も拡大していく。P. 237 の³も見て欲しい。

B

問4 正解① (国家間の勢力争い) 13

①P. 249 の4で、日清戦争後の中国の様子を見て欲しい。列強各国が租借地・勢力圏を得て、鉄道建設にも着手している。一方、同時期のアメリカについては、P. 259 を参照。1890 年の「フロンティア消滅」に続いて、1898 年のスペインとの戦争で、フィリピンを勢力下におさめる。中国における租借地等の獲得に遅れたアメリカは、門戸開放通牒で他国を牽制した。

②レコンキスタ完了の頃から、ポルトガルは東回りで、スペインは西回りで、アジアやアメリカ大陸への進出をめざした。P. 182 および P. 183 で、両国の拠点や航海者を含め、整理しておこう。

③P. 260 の1で、第一次世界大戦に至る国際関係の推移を見ておこう。基本的には三国協商と三国同盟が対立する。しかし、イタリアは「未回収のイタリア」をめぐるオーストリアとの火種を抱えており、結局、協商国側(連合国側)について参戦した。P. 261 の下部も参照。

④P. 246 の1でわかるように、東南アジア大陸部の国々は清朝への朝貢国であった。しかし、ビルマはイギリス領インド帝国に併合され、タイは近代化改革を行って、清の支配から離脱していく。ベトナムについては P. 247 の中段で確認。清仏戦争の結果、清はベトナムの宗主権を放棄し、フランスのインドシナ支配が拡大・確立していった。

問5 正解② (ロシア・ソ連の歴史) 14

①冷戦初期の基本事項については P. 286 参照。西側諸国の動きに対抗してつくられたのはコミンフォルムである。コミンテルンはロシア革命の中で、1919 年に結成された。P. 265 の年表を参照。

②P. 264 の地図A参照。日本軍の行動はシベリア出兵と呼ばれる。日本軍は満州への影響力確保を狙って、他国よりも長期に駐留したため、アメリカからの不信任が増大した。

③P. 265 の年表で、ロシア革命後の経済政策を見て欲しい。戦時共産主義によって国民経済が荒廃すると、資本主義的なシステムを一部復活させる新経済政策(ネップ)が採用された。このあと、スターリンのもとで五カ年計画が実施され、社会主義体制の本格的構築に向かう。

④P. 204 参照。ミハイル=ロマノフがロマノフ朝の創始者となり、ピョートル 1 世が
新都サンクト=ペテルブルクを建設して、西欧化政策をとる。

問 6 正解② (冷戦の歴史) 15

P. 284 と P. 285 を見ながら、確認しよう。コメコンはコミンフォルムとともに、
冷戦初期の東側組織である。そのあと、米ソ関係は緩和と緊張を繰り返すが、ベト
ナム戦争の泥沼化の中で威信を失ったアメリカは、ニクソン大統領の訪中や、ソ連
との S A L T I を決断するに至った。アメリカの外交の転換については P. 290 の 2
も見て欲しい。米ソ関係はソ連のアフガニスタン侵攻(1979)で再び緊張し、「新冷戦」
と呼ばれる状態に至る。しかし、ソ連のゴルバチョフがペレストロイカを開始する
中で、米ソ関係は緩和に向かい、I N F 全廃条約、マルタ会談に至る。冷戦終結を
象徴する出来事として、ベルリンの壁崩壊やソ連のアフガニスタンからの撤兵完了
をあげることができる。

C

問 7 正解③ (外交の歴史) 16

- ①P. 152 の1で、澶淵の盟、慶暦の和約、紹興の和議を確認しよう。いずれも、銀や絹を差し出すのは中国側であり、財政難の一因となった。
- ②P. 302 参照。エジプトとイスラエルの和平を仲介したカーター大統領、パレスチナ暫定自治協定を仲介したクリントン大統領の写真が掲載されている。
- ③ブランドの写真は P. 308 下部。キャプションにある通り、冷戦外交から、東側諸国との和解をめざす外交に転換した。
- ④P. 203 の2の図式を見て欲しい。オーストリア継承戦争と七年戦争ではいずれも、シュレジエンをめぐるプロイセンとオーストリアの対立がある。前者の戦争ではフランスがプロイセン側につき、後者ではオーストリア側についている。これが有名な「外交革命」である。ハプスブルク家はフランス王家と長期に対立してきたが、プロイセンに勝利をおさめるため、フランスと同盟したのである。

問 8 正解④ (鄧小平の事績) 17

- ①新生活運動は、蔣介石 (P. 274 の人物コラム) が抗日運動と並行して展開した、儒教的な民衆教化運動である。用語としてはかなり細かい。
- ②平和五原則を発表したのは、ネルーと周恩来である。P. 289 の2参照。
- ③P. 294 の1を参照。鄧小平は国家主席にはならず、「最高実力者」として君臨した。
- ④文化大革命については P. 295 の4。鄧小平などが、資本主義の復活をはかったという理由で毛沢東から批判され、失脚する。鄧小平の復権は、毛沢東の死の翌年であり、直後から最高実力者として、中国経済の大発展を導いていく。

問 9 正解③ (中国の対外関係) 18

- ア P. 290 の2参照。ベトナム戦争の泥沼化で威信を失ったアメリカは外交方針を転換し、国連における中華人民共和国の代表権承認、ニクソン大統領の訪中・訪ソに踏み切った。アメリカの変化は同盟国の日本にも影響を与え、日中国交正常化が実現する。
- イ P. 299 の2参照。カンボジアの内戦では、中国の支援する政府とベトナムの支援する政権が対立しており、ここから中越戦争に至った。

第3問 図書館と書物

A

問1 正解② (ファーティマ朝の成立) 19

まず, P. 126 の地図を見て, イスラーム世界の時代ごとの特質を整理して欲しい。
シーア派の世紀と言えるのは 10 世紀であり, 選択肢の中では b・c が候補となる。
(ちなみにブワイフ朝の成立も 10 世紀である)。カリフは本来ムハンマドの後継者として, ウンマを束ねる存在であるから, 「イスラーム世界に 1 人」が原則である。しかし, アッバース朝の権威が衰えると, 他の王朝でもカリフを自称する者が登場した。その最初の例がシーア派のファーティマ朝であり, その後, スンナ派の後ウマイヤ朝もカリフ位を採用した。

問2 正解② (文字や記録媒体の歴史) 20

- ①パピルスの作り方は P. 68 に掲載されている。ナイル川流域の風土を生かしたパピルスには, エジプト文字が記された。複雑な書体の神聖文字(ヒエログリフ)に加え, 神官文字・民用文字なども派生していく。解説について, テーマ7「文字の歴史」のページにある人物コラムも参照しておきたい。シャンポリオンが, ロゼッタ=ストーンに記されたギリシア文字と比較しながら解説した。
- ②P. 106 のコラムなどを参照。殷墟で出土した甲骨文字は亀甲・獣骨に記され, 青銅器に刻まれた金文とともに, 漢字の祖型と言える。
- ③P. 185 で, 古代アメリカの文明の共通点と相違点は整理したい。キープはインカ帝国(文明)で使用された。
- ④P. 71 と P. 75 の 2 参照。シュメール人の発明した楔形文字は, 主に粘土板に刻まれた。エジプトのヒエログリフと違い, オリエン特世界の共通文字として, 多数の言語の表記に使用された。

問3 正解① (翻訳の歴史) 21

- ①P. 115 の 2 参照。魏晋南北朝時代の中国では混乱の中で, 儒教以外の宗教が発展していく。北朝(華北)では国家仏教や寇謙之による新天師道(道教)が確立し, 南朝(江南)では貴族仏教が隆盛をむかえる。五胡十六国時代に西域から来た仏図澄・鳩摩羅什は, 仏典翻訳や仏寺建立に関わった。

- ②エウクレイデスの幾何学はヘレニズム自然科学の象徴的存在であり (P. 84 の²), イスラーム世界経由でヨーロッパの 12 世紀ルネサンスに影響を与えたほか, 明末清初の宣教師を通じて, 中国の学問の発展にも寄与した。P. 173 の³を見て欲しい。イエズス会の宣教師は儒教的伝統を尊重しながら布教につとめ, 並行して, 学問の普及にも尽力した。エウクレイデスの著書の翻訳は, マテオ=リッチ『幾何原本』である。なお, 李自珍は『本草綱目』の著者である。P. 173 の¹参照。
- ③P. 128 参照。異文化に寛容なイスラーム世界では, ギリシアの古典文献がアラビア語に翻訳され, 哲学・医学・数学など「外来の学問」の発展に寄与した。特にアリストテレスの存在感は大きく, ヨーロッパの 12 世紀ルネサンスを経て, トマス=アキナスの神学の大成につながる。P. 150 の人物コラムも読んで欲しい。
- ④中世騎士道文学のあたりから芽生えた俗語文学の流れはルネサンス文学で開花し, 各国の国語文学(国民文学)の発展につながる。ダンテの『神曲』(P. 188), シェークスピアの劇文学(P. 192)などが典型と言えるだろう。この流れは, 宗教改革にも影響し, 活版印刷の改良も加わって, ルターによる聖書のドイツ語訳とその普及が実現した(P. 194 の下段)。

B

問 4 正解④ (植民地化の歴史) 22

この問は、P. 257 と P. 244 の地図が整理できていれば正解できる。

- ①ベルギー領はコンゴ。アンゴラはポルトガル領。P. 211 も見てみると、アフリカの沿岸部には、早期からポルトガル領がある。
- ②イタリア領はリビア・ソマリランドなど。アルジェリアはシャルル 10 世時代のフランスが獲得 (P. 227)。
- ③ビスマルクは 1884 年にベルリン会議を開催し (サン=ステファノ条約をめぐるベルリン会議とは別)、アフリカ分割の先占権を各国と確認した。
- ④イギリス領インド帝国にはパキスタン・バングラデシュ・ビルマ・スリランカも含まれていた。

問 5 正解① (旅行記や地理書) 23

- a 渡印僧である法顕・玄奘・義浄の辿ったルートと著作は整理したい。法顕については P. 115 の ② と P. 23。季節風を利用したマラッカ海峡ルートと陸路を併用している。玄奘・義浄については P. 118 の ① と P. 27。義浄は、シュリーヴィジャヤにおける大乘仏教の隆盛も報告している。
- b P. 92 の ① 参照。ローマ文化の中にもギリシア人の活躍が見られる。ストラボン『地理誌』もその一例。

問 6 正解② (1848 年革命) 24

- ①P. 264 参照。ニコライ 2 世の退位はロシア暦二月革命。このあと革命は、戦争継続を主張する臨時政府と停戦および社会主義革命の徹底をめざすソヴィエト政権が争う構図となり、レーニンの率いるボリシェヴィキの独裁体制へ向かう。
- ②ドイツ統一の過程は P. 228。19 世紀前半の統一運動は、民衆的な「下からの統一」のエネルギーが大きく、ドイツ関税同盟に見られるように経済的統一が先行する特徴を持つ。1848 年にメッテルニヒが失脚し、ウィーン体制が崩壊すると、ドイツ統一は加速する。しかし、同年に開催されたフランクフルト国民議会で、統一の方向性は大きく舵を切る。プロイセン中心の「上からの統一」に転換し、民族問題を抱えるオーストリアを排除する「小ドイツ主義」が採用されるに至った。
- ③P. 224 の ③ 参照。ナポレオン 3 世のメキシコ干渉のあと、ディアスはアメリカ資

本導入による経済発展を企図したが、かえって格差拡大を招き、マデロらによるメキシコ革命が起こった。

- ④P. 227 の⁵を参照。パリ市民がブルボン復古王政を打倒したのが七月革命。この革命は、ウィーン体制打倒をめざす革命運動の第2波の起点となった(P. 223 の²)。

C

問 7 正解② (未成年者の労働条件の改善) 25

産業革命の時期の早いイギリス・フランスを中心に、資本主義社会の矛盾を懸念し、理想社会建設をめざす動きが活発化した。P. 215 を見て、オーウェン、サン=シモン、フーリエの活動を確認しよう。後に、彼らの思想は、マルクスから空想的社会主義と批判的にとらえられた。

問 8 正解① (ナチス=ドイツがポーランドに返還を要求した都市) 26

P. 266 で、ヴェルサイユ条約におけるドイツ領の処理を確認し、地図上でも位置を見ておきたい。ポーランド回廊は、ドイツからポーランドに割譲され、隣接するダンツィヒは国際連盟管理下となった。この機会に、アルザス・ロレーヌ、ザール、ラインラントなどの位置も見ておきたい。

問 9 正解③ (書物の歴史) 27

- ①ローマ法の発展については P. 92 の¹を参照し、市民法→万民法の流れ、集大成としての『ローマ法大全』くらいはおさえておきたい。ユスティニアヌスはヴァンダル王国・東ゴート王国を滅ぼして地中海全域に領土をひろげ、全盛期のローマ帝国の栄光を取り戻そうとした。ハギア=ソフィアの建立や『ローマ法大全』の編纂事業も、このような文脈でとらえたい。P. 24 でユスティニアヌス時代のビザンツ帝国を確認するとともに、隣国ササン朝もホスロー 1 世のもとで全盛をむかえていることに注意しよう。
- ②『古今図書集成』は清代のもの(P. 173 の²)。清朝の編纂事業は、中国文化を尊重する姿勢を見せる懐柔策の 1 つだが、学者の動向を探る思想統制の意味も持っていた。元代の文化については P. 165 の⁴。元代は科举も断続的な実施に留まるなど、儒学的な文化は低調であった。むしろ、庶民向けの雑劇(元曲)や小説がめだつ。元代に抑え込まれた漢人士大夫のエネルギーは、明代の朱子学・陽明学の発展に注がれる。
- ③P. 97 参照。ヒンドゥー教の聖典には、バラモン教から継承した諸ヴェーダのほか、民族叙事詩『マハーバーラタ』『ラーマーヤナ』、各ヴァルナの規範を記した『マヌ法典』も含まれており、その融合的性格を示している。これらの多くが、グプタ朝時代に完成する(P. 98 の年表を参照)。

④P. 207 参照。啓蒙思想は、絶対王政の矛盾が明確な 18 世紀のフランスで発展した。

『百科全書』に掲載される内容は思想・科学・芸術など多岐にわたり、上流階級の集まるサロンで醸成されたものも多かった。

第4問 人やモノの移動

A

問1 正解① (漢の武帝の治世) 28

- ①P. 110 の年表を参照。武帝は匈奴を討って敦煌など4郡，衛氏朝鮮を征服して楽浪など4郡，南越を滅ぼして南海など9郡を置いた。
- ②党錮の禁についても P. 110 の年表。後漢時代に宦官や外戚が専横化し，儒学を身につけた官僚と対立した。政争に明け暮れ，有効な政策を出さない政府に対し，黄巾の乱が起こる。
- ③府兵制は西魏に始まる (P. 114 の1)。唐代のシステムについては P. 117 の6を参照。均田制で土地を与えられた農民に兵役を課するのが府兵制である。均田制・租調庸制・府兵制は三位一体と言える。だからこそ，均田制の崩壊とともに府兵制も成立しなくなり，募兵制に転換するのである。
- ④P. 110 参照。武帝が専売化したのは，塩・鉄・酒である。

問2 正解② (中国歴代王朝の都) 29

- ①周の都は鎬京から洛邑に遷る (P. 106 の地図B)。いずれも黄河の流域である。建康は東晋など南朝の都で，現在の南京にあたる (P. 114)。
- ②唐代の三夷教について P. 118 の1で確認。祆教・景教・摩尼教などの漢字表記も見ておきたい。P. 119 でわかるように，国際都市長安には各宗派の寺院も建立された。ただし，マニ教を国教化したウイグル人が唐と敵対するようになると，マニ教は弾圧の対象となった。
- ③北宋の開封を陥落させたのは女真族の金であり，徽宗・欽宗も連行された (靖康の変, P. 152 の年表と地図B)。西夏は西域の交易ルートをおさえた。
- ④モンゴル帝国時代のネットワークを利用して往来した人物は多数 (P. 165 の2)。カルピニとルブルックはフランチェスコ会修道士で，陸路カラコルムに至った (カラコルムはオゴタイの築いたモンゴル帝国の都であり，「元の都」ではない)。フビライが大都に遷都して以降に往来したコルヴィノ，マルコ=ポーロ，イブン=バットゥータはいずれも海路を利用している。大運河で連結されたネットワークの存在を想起させる。

問3 正解① (ユーラシアの東西を結ぶ人やモノの動き) 30

- ①P. 15, P. 17, P. 98 参照。サータヴァーハナ朝はローマとの季節風交易で栄えた。
- ②P. 110 参照。後漢の西域都護となった班超は、部下の甘英を大秦に向けて派遣した。P. 114 を見ると、甘英はシリアに到達している。この時代、エジプトはローマ帝国領となっており、プトレマイオス朝エジプトは滅亡している。
- ③P. 82 の地図C参照。ヘレニズム諸国家の東端がバクトリアで、その西隣にイラン系のパルティアが位置する。このパルティアも、初期はギリシア的色彩が濃厚であった。また、ササン朝とともに、東西交易で大きな利益を得ていた(P. 77 の2)。クテシフォンはパルティアの都となる都市(P. 76 の1)。
- ④P. 17 の通り、大秦王安敦の使者と名乗る者は日南郡に来航した。

B

問 4 正解④ (移民や移住の歴史) 31

- ①ハワイへの大量の移民として想起したいのは日本人である。P. 237 の[3]を参照。
アイルランドからの移民の多くはアメリカ本土へ向かう。P. 226 の[3]を見て欲しい。アイルランド人はイギリス人地主のもとで小作人となり貧しい生活を強いられたうえ、小麦の多くをイギリスに奪われていた。そこに襲ったのが 19 世紀半ばのジャガイモの凶作と大飢饉であり、アメリカへの移民が急増する。彼らは中国系移民とともに、大陸横断鉄道の建設などに関わった(P. 236 の写真の解説)。
- ②P. 74 の[1]参照。バビロン捕囚は新バビロニアのネブカドネザル 2 世から始まり、アケメネス朝のキュロス 2 世で終わる。ここまで、ヤハウエに対する信仰を守り抜いた人々がユダヤ教徒(ユダヤ人)となる。ミタンニはアッシリアの故地を支配していた王国で、ヒッタイト・カッシートと並び称される(P. 71 地図[B])。
- ③P. 246 の[2]参照。東南アジアの農園労働力は華僑・印僑が中心だった。
- ④11 世紀頃の西欧における農業の発展と人口増加は、キリスト教世界拡大へのエネルギーを生み出し、イェルサレムへの十字軍の背景となった。P. 142 の表「十字軍の経過」を参照。同時期に起こったアルビジョワ十字軍、イベリア半島のレコンキスタ、ドイツ人の東方植民も同じ文脈でとらえたい(P. 143 の[3])。

問 5 正解① (船に関わる出来事) 32

- ①P. 81 の[5]参照。ソロンの改革、クレステネスの改革によって、アテネの参政権は開放的になりつつあった。ペルシア戦争の「中」で起こったサラミスの海戦で無産市民が活躍すると、民主化は頂点に達する。
- ②P. 166 の[1]を参照。北虜南倭に苦しんだ明は海禁緩和に転じたが、かえって、交易活動による周辺勢力の台頭を招いた。豊臣秀吉の朝鮮侵略やヌルハチの後金建国は、このような文脈でとらえて欲しい。秀吉の侵略に際して朝鮮は、明からの援軍と李舜臣率いる亀甲船水軍で対抗した(P. 175 の人物コラム)。
- ③P. 248 の[1]や P. 249 地図[B]を参照。アロー号事件を契機の 1 つとするアロー戦争は、第 2 次アヘン戦争とも称される。アヘン戦争後も中国との貿易が伸び悩んでいたイギリス・フランスなどの不満が、実際の開戦理由であろう。いずれにせよ、戦争の主役は英仏であり、オランダは関わっていない。

④P. 313 および P. 56 参照。ビキニ水爆実験を行ったのはアメリカである。

問 6 正解④ (芸能や文芸の歴史) 33

①P. 98 の年表参照。カーリダーサ『シャクンタラー』はサンスクリット文学の代表作であり、グプタ朝時代につくられた。グプタ朝時代はヒンドゥー教の諸聖典の完成、ナーランダー僧院における仏教教義の研究、アジャンター石窟寺院の純インド風美術(グプタ美術)の流行、などの特質も合わせ持っており、インド古典文化の完成期と評価されている。

②P. 206 の①と P. 209 の②参照。イギリスではシェークスピアなどの劇作家が早期に生まれ、上流階級向けの演劇の上演も行われていたが、フランスではルイ 14 世時代に、古代ギリシア・ローマのスタイルを模倣した宮廷演劇が発展した。コルネイユ・ラシーヌ・モリエールの 3 人は並び称される。

③ワヤンは『マハーバーラタ』『ラーマーヤナ』などを題材とする影絵芝居である(P. 100 の②)。ジャワではクディリ朝やシンガサリ王国の時代にヒンドゥー教が優勢となり(P. 102)、ワヤンの伝統も広がっていった。マラッカ王国を起点に島嶼部がイスラーム化したあとも(P. 102)、バリ島などにヒンドゥー教文化が残存している。

④雑劇・小説とともに、音曲に合わせる詞(韻文の歌詞)が流行したのは宋代である(P. 155 の④)。唐代の漢詩の発展(王維・李白・杜甫など)と対比させておこう。

C

問 7 正解④ (ハンガリーの歴史) 34

- ①P. 278 の年表参照。1935 年のコミンテルンの大会で反ファシズム統一戦線が提唱された。これを人民戦線と称する。この後、スペインのアサーニャやフランスのブルムが人民戦線内閣を組織する。
- ②・③・④第二次世界大戦後の東欧に動きについては P. 311 を参照。フルシチョフによるスターリン批判の影響で、ハンガリーとポーランドで反ソ暴動が起こった。このとき、ハンガリーの首相だったのがナジ=イムレである。1960 年代には、チェコスロヴァキアでドブチェクによる民主化運動(プラハの春)も起こった。やがて、冷戦終結に伴って東欧革命(1989 年)が起こり、各国の民主化が進展する過程で新しい政権が生まれていった。ポーランドのワレサ、チェコスロヴァキアのハヴェルなどを挙げることができる。その裏側では、政権を追われる権力者もいた。ルーマニアのチャウシェスクの処刑は典型と言えるだろう。

問 8 正解③ (人の移動の歴史) 35

- ①P. 134 の地図A参照。フン人の移動を受けてイベリア半島に向かったのは西ゴート人である。ゲルマン諸族の移動のあと、東欧各地に拡散したのがスラヴ人であり、その様子は P. 140 の2で確認できる。
- ②P. 70 の1を参照。エジプトは中王国時代のあと、馬と戦車の戦術を持つヒクソスの支配を受けた。砂漠に囲まれて孤立的なエジプトでは、メソポタミアに比べて異民族の侵入が少ないので、ヒクソスについては注目したい。
- ③P. 182 年表および P. 183 の地図参照。
- ④P. 264 の年表参照。ロシア革命が始まり、ニコライ 2 世が退位した直後に帰国したレーニンは四月テーゼを発表し、臨時政府に対抗する姿勢を明確にした。ブレジネフはフルシチョフの後任のソ連書記長(P. 310)。

問 9 正解③ (セルビアの死亡者数の推移) 36

この問題は、露土戦争後のサン=ステファノ条約・ベルリン条約、およびサラエヴォ事件の年号を問うているのだろう。両条約については P. 232 の地図Bなどを参照。サラエヴォ事件は P. 261 に掲載されている。